

川西市生涯学習アカデミー

2025年度

宇宙地球科学への誘い	5/28 (水) ~ 10:00~11:30
「怪異」から「妖怪へ」 ～怪異学入門～	6/25 (水) ~ 14:00~15:30
日本の生物多様性の今を知る	10/8 (水) ~ 10:00~11:30
院政期説話を学ぶ ― 『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より	10/8 (水) ~ 14:00~15:30

開講 5 日前まで受付けます (先着順)

募集期間延長



市民環境部 生涯学習課

〒666-0033 川西市栄町 25-1 アステ川西 5 階

電話 072-740-1244

(土・日曜日、祝日を除く 9:00~17:00 受付)



生涯学習アカデミー

川西市公式ホームページ内、ページ番号検索「1019573」で検索

宇宙地球科学への誘い

ブラックホールの撮影、はやぶさ2の快挙、月探査の国際競争、X線天文衛星XRISMの打ち上げ、太陽系氷天体の探査など、宇宙科学／地球惑星科学は日進月歩。この講座では大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻の研究者達が、最新の宇宙像／太陽系像について解説します。彼らには今、どんな新しい世界が見えているのでしょうか？ 講座を通して、「宇宙地球科学の最前線」に刮目してください。

1	X線で見える暗く静か「ではない」宇宙 大阪大学 大学院理学研究科 教授 松本 浩典	5月28日(水) 10:00 ～ 11:30
	天文学というと、夜空を望遠鏡で観察し、漆黒の闇の中に浮かぶ星を観測する、というイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。宇宙の姿は観測する光の種類(波長)によって全然異なります。X線で見た宇宙は、数千万度の高温ガスや光速に近い粒子が満ち溢れた、全然静かではない世界です。またX線天文学では、夜空の観測はしません。人工衛星を使った観測を行います。今回は、X線とは何か、から始めて、X線で見える宇宙の姿を紹介いたします。	
2	宇宙の石が語る生まれたての太陽系像 大阪大学 大学院理学研究科 助教 福田 航平	6月11日(水) 10:00 ～ 11:30
	私たちの住む太陽系は46億年前に誕生したと考えられていますが、その根拠について皆さんはご存知でしょうか。講演では、宇宙の石「隕石」に記録された化学情報を頼りに、太陽系の年齢決定法や生まれたての太陽系の姿について考えてみたいと思います。また、探査機によって回収された宇宙の石の分析からわかってきた最新の太陽系像についても紹介します。	
3	「熱」で紐解く太陽系天体の進化：氷の世界は生命を育めるか 大阪大学 大学院理学研究科 助教 木村 淳	6月25日(水) 10:00 ～ 11:30
	地球や月はほぼ岩石の塊であるのに対して、太陽から遠い木星以遠の領域では、氷が天体の主成分となります。この20年ほどの間に行われた探査や観測を通して、冷たい氷の世界にも亀裂や断層などの多彩な地形が見られることや、内部では氷が融けて海が隠れている可能性までもが出てきました。そして今や、この太陽の当たらない冷たく深い海でも生命の発生があり得るとの仮説も出ています。外からは見えない内部の様子を探る方法を紐解きつつ、様々な活動を見せる氷の世界を紹介します。	
4	月の沙漠に水を求めて 大阪大学 大学院理学研究科 准教授 山中 千博	7月9日(水) 10:00 ～ 11:30
	1969年のアポロ11号の成功以来、今までに6回の有人月探査が行われました。月は長らく乾燥した天体と考えられていましたが、近年その解釈は変わりつつあります。月の極域にはかなりの氷があると考えられ、惑星科学および資源開発の観点から国際的な競争が開始されています。JAXAでも月極域探査が準備中で、私たちは、無人で月表面を掘削し、水を蒸発分離してその存在度や同位体の組成を調べる装置開発を行っています。月面の特異的な環境に触れつつ、今後の月探査についてお話しします。	

5	地球型惑星の表層環境の歴史 大阪大学 大学院理学研究科 准教授 横田 勝一郎	7月23日(水) 10:00 ~ 11:30
水星から火星まで、岩石で作られた太陽系地球型惑星の表層環境はどれ一つ同じではなく、様々な大気を持つ多様性に富んだ状態です。地球だけが多くの生命を宿していますが、その環境がどのように作られ維持されているかは大きな謎でした。ところが、最近の惑星探査による比較研究によって多くのことが明らかになりました。ここでは、最新の観測成果と共に惑星の表層環境（惑星大気）の成り立ちについて紹介します。		
6	月からわかる地球のこと 大阪大学 大学院理学研究科 教授 寺田 健太郎	8月6日(水) 10:00 ~ 11:30
私たちの「月」は、惑星科学的に見ると、惑星に対する比率が大きい特異な衛星で、「力学的」だけでなく「化学的」にも地球と影響を及ぼしあいながら、約45億年もの間、連れ添ってきたことがわかっています。当日は、最新の月の研究を紹介するとともに、月の石や大気、クレーターから地球の過去がわかるかも？ という話をします。		
7	星クズからできている私たちの体!? 大阪大学 大学院理学研究科 教授 寺田 健太郎	8月20日(水) 10:00 ~ 11:30
「私たちの体は星クズからできている」とよく言われますが、宇宙地球科学的にはどういう意味なのでしょうか？ 一般に太陽系を構成する約90種類の元素は、太陽系が誕生する以前の長い歴史において、たくさんの星が生まれて死んでいく過程で合成されたものと考えられています。そして、その時の痕跡が、隕石や私たちの体を構成する元素の同位体比として今も残っているのです。当日は、最新の元素合成理論や太陽系物質の同位体分析からわかってきた「元素の起源」について考えてみたいと思います。		
8	相対性理論が繋ぐビッグバンとブラックホール 大阪大学 大学院理学研究科 准教授 井上 芳幸	9月3日(水) 10:00 ~ 11:30
アインシュタインの相対性理論は、現代宇宙物理学の礎を築きました。特に、広大な宇宙の始まりであるビッグバンと光さえ脱出できない天体であるブラックホールは一見無関係ですが、いずれも相対性理論がその根幹にあります。本講演では、相対性理論がどのように私たちの宇宙の理解を深めたかをビッグバン宇宙やブラックホールの最新の研究成果も交えながら紹介します。		

アステ市民プラザで対面講座、清和台公民館、東谷公民館でライブ配信講座を行います。

会場	①アステ市民プラザ	阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩3分（アステ川西6階）
	②清和台公民館	阪急バス「清和台四丁目」下車すぐ
	③東谷公民館	能勢電鉄「山下駅」下車 南西へ徒歩約7分

「怪異」から「妖怪」へ ～怪異学入門～

「怪異学」はフシギなコトやモノについて歴史や文学・民俗の記録を解読することから、その認識を生み出した社会・文化の特質や日本人の心の軌跡を探る新しい学問です。東アジア怪異学会の講師陣が、怪異学の世界へと誘います。

怪異とは、かつて神々が示すものでした。古代中世の「怪異」とその周辺情報は、やがて現在の「妖怪」へと変異・変容していきます。国家により管理された情報から、多様なキャラクターへ。東アジア怪異学会のおよそ四半世紀におよぶ議論をもとに、「怪異」「神」「妖怪」の関係について、わかりやすい事例とともに提示します。

1	「怪異」と怪異学 園田学園大学 学長 園田学園大学 経営学部 教授 大江 篤	6月25日(水) 14:00 ～ 15:30
「怪異」は中国古代の災異思想にもとづく言葉でした。天と人の行ないが連動し、為政者である皇帝の失政を戒めるために、天が「災害」「怪異」を起こします。この災異思想は、天武朝に国家の理念として受容されましたが、天の思想は定着せず、神の「祟り」とそれを認定する卜占のシステムが日本古代の怪異認識の形成に影響を与えました。今回は、古代の史料を読み解き、日本古代の「怪異」について考えていきます。		
2	日本古代の神—その成立と変容 京都産業大学 法学部 准教授 久禮 旦雄	7月30日(水) 14:00 ～ 15:30
日本古代の「神（かみ）」と呼ばれる存在は、『古事記』『日本書紀』『風土記』『万葉集』などの史料によってそのあり方はさまざまです。社殿がないものも多く、また古代の人々は神のわかりにくい意思を読み取るために卜占の技術を用いました。今回はそのような、多様でわかりにくい存在がいかにして古代国家により「神」としてまとめられていったのか、そして仏教など外来の思想の影響を受けて変化していったかを考えます。		
3	神獣白沢とその「妖怪」知識 金沢学院大学 文学部 准教授 佐々木 聡	8月6日(水) 14:00 ～ 15:30
白沢は11520種類ものモノノケを知る中国の神獣であり、魔除けの霊験があるとされて江戸時代に流行しました。以来白沢は人面牛身に九つの眼を持つ姿で知られるようになりますが、本場中国では全く異なる姿で描かれます。こうした違いはなぜ生まれたのでしょうか？ 今回の講義では、その変容を礼制と通俗という観点から読み解きます。また今回は「白沢の知識」から生まれた妖怪「鳴釜」にも少し触れてみたいと思います。		
4	「江戸時代」が生んだ妖怪、オサカベ姫 桃山学院大学 国際教養学部 准教授 南郷 晃子	8月20日(水) 14:00 ～ 15:30
姫路城天守閣に棲むという妖怪オサカベ姫は天守閣に祀られている神でもあります。神が怪しいことをなす存在、妖怪と呼ばれるようになるのはなぜでしょうか。領主の国替、版本（版木で刷られた本）といった「江戸時代」らしさこそがオサカベ姫を妖怪化させていきます。地域の写本資料や黄表紙、書状など色々な資料をみながら、オサカベが妖怪の顔を持っていく道のりをたどっていきましょう。		

5	天狗一天変から信仰へー 大谷大学 文学部 助教 久留島 元	8月27日(水) 14:00 ～ 15:30
天狗といえば、鼻高・赤ら顔・山伏姿でおなじみですが、実は定着したのは江戸時代ごろから。日本では平安時代からその名が記録されていますが、もともとは中国の歴史書に登場します。中国から渡来し、仏教説話、寺社縁起、能や軍記物語などメディアを変えて活躍してきた天狗像の変遷をたどり、ときに山の神とも同一視される天狗の謎に迫ります。		
6	鬼 関西大学・近畿大学 非常勤講師 榎村 寛之	9月3日(水) 14:00 ～ 15:30
鬼という怪物の記事は古代以来見られますが、角をはやして虎の皮の褌を締めるイメージは古代の鬼にはありませんでした。では、鬼という漢字はどのようなモノを指す言葉だったのか、鬼はどのような場所、環境に現れるモノだったのか。奈良時代や平安時代の歴史書や文学書に見られる「鬼」の字を追って、そのイメージの変遷を考えていきましょう。目標は、「目一つの鬼」から「おしおきだっちゃ」までです。		
7	河童とはなにものか 京都先端科学大学 人文学部 准教授 木場 貴俊	9月10日(水) 14:00 ～ 15:30
河童は、最も知名度の高い「妖怪」の一つですが、果たして何物なのでしょう？ 生き物？ 宇宙人？ など、現在いろいろな説が飛び交っていますが、歴史の資料をひもといてみるとその正体はハッキリとわかっています。また、河童は、古くから研究の対象として、また信仰の対象として扱われてきました。今回は、河童に関する資料を丁寧に読んでいくことで、河童とは何物なのか、そして「妖怪」とは何かを考えてみたいと思います。		
8	「怪異」の拡散～小野毛人の墓誌をめぐる言説～ 園田学園大学 学長 園田学園大学 経営学部 教授 大江 篤	9月17日(水) 14:00 ～ 15:30
小野毛人墓誌は、17世紀に掘り出された洛北の高野村において不思議なことと関連付けて問題とされ、埋納されています。その間に、京都の知識人たちの記録や地誌に取り上げられ、広く世間にその存在が知られることになりました。やがて江戸で、小野毛人の霊と「祟り」を基調とする物語へと変異していきます。近世に盛んになる怪談が、基層にある民間伝承をどのような関係にあるか。怪異の拡散について考えます。		

アステ市民プラザで対面講座、清和台公民館、東谷公民館でライブ配信講座を行います。

会場	①アステ市民プラザ	阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩3分（アステ川西6階）
	②清和台公民館	阪急バス「清和台四丁目」下車すぐ
	③東谷公民館	能勢電鉄「山下駅」下車 南西へ徒歩約7分

日本の生物多様性の今を知る

日本の植物や昆虫、植生の実情について紹介し、日本の豊かな生物多様性の姿を深く知ることのできる講座です。生物多様性のうち、特に種（植物、昆虫）の多様性、生態系（植生）の多様性に着目して解説します。また、生物多様性とわたしたちとの関係を紐解き、それを保全する理由についても解説します。近年問題となっている外来生物問題についても解説します。

1	生物多様性とわたしたちの暮らし 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 橋本 佳延	10月8日(水) 10:00 ~ 11:30
生物多様性は、わたしたちの暮らしに欠かせない様々な恵みの源となる存在です。本講座では、生物多様性の本質的価値や、生物多様性からもたらされるサービス（供給、調整、文化）について解説し、その保全の必要性について考えます。		
2	生物多様性の成り立ち 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	10月22日(水) 10:00 ~ 11:30
生物が地球に誕生したのは今から約40億年前といわれています。その後、生物はどのような歴史を経て進化し、多様化したのでしょうか。本講座では、このような歴史の概要を紹介したいと思います。		
3	森林の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	11月5日(水) 10:00 ~ 11:30
森林国である日本には様々なタイプの森林が分布しています。森林は日本の生物多様性を支える大変重要な存在です。本講座では、日本を代表する主な森林をとりあげて、その特徴や成立要因などを紹介したいと思います。		
4	草原の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 石田 弘明	11月19日(水) 10:00 ~ 11:30
森林と同様に草原にも様々なタイプが存在します。その中には、数百年にわたる人間活動によって維持されてきた半自然草原も含まれています。本講座では、このような草原の特徴や成立要因などを紹介したいと思います。		

5	海岸の植物・植生の多様性 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 黒田 有寿茂	12月3日(水) 10:00 ~ 11:30
海岸には砂浜、砂丘、海崖、塩性湿地など、多様な環境がみられます。そこには海岸特有の環境に適応した植物が生育し、内陸ではみられない独特の植生を形成しています。こうした海岸植物・海岸植生の多様性について解説します。		
6	里山の自然を守るとはということか 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 黒田 有寿茂	12月24日(水) 10:00 ~ 11:30
丘陵地に広がる里山には様々な植物が生育しています。その自然を守るといったことはどのような意味・意義をもっているのでしょうか。植物相の特徴、植生の変遷、生きもののつながり、生態系の機能といった視点から考えます。		
7	身近にせまる外来植物の問題 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 橋本 佳延	1月14日(水) 10:00 ~ 11:30
市街地や河川、里山に分布する身近な外来植物を紹介するとともに、外来植物の侵入の経路や、日本の生物多様性を脅かす侵略性の高い外来植物の事例について講義します。また外来植物の侵入・定着を予防するための、日本の在来植物（地域性種）による緑化について紹介します。		
8	昆虫の多様性とその役割 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 山田 量崇	1月28日(水) 10:00 ~ 11:30
地球上で最大の種数を誇る昆虫類について、形態、分類、生態などの基礎的な内容から、寄生や擬態、社会性といった特徴的な事象まで紹介するとともに、益虫や害虫、希少種や外来種などの視点で人間との関わりについて講義します。		

アステ市民プラザで対面講座、明峰公民館、北陵公民館でライブ配信講座を行います。

会場	①アステ市民プラザ	阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩3分（アステ川西6階）
	②明峰公民館	阪急バス「明峰小学校前」下車 徒歩約3分
	③北陵公民館	能勢電鉄「日生中央駅」下車 東へ徒歩約8分

院政期説話を学ぶ―『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より

平安末院政期から鎌倉時代にかけて、説話・説話集は時代を表現するメディアとして、文学史上重要な地位を占めました。説話は時に説話集の形をとって集積され、ひとつの作品ともなる一方、さまざまなジャンルの書物に記録され、基層文学としての役割を果たしました。この講座では、大江匡房の談話録『江談抄』と、編者未詳の説話集『今昔物語集』、そして鴨長明編と伝わる『発心集』から、幾つかの説話を採り上げてテキストを読み、広く他資料も援用しつつ講述を行います。あわせて、絵巻物との関連や、民俗・昔話との関わり、さらには時代状況や宗教との関係についてもお話しします。

1	大江匡房『江談抄』と『伴大納言絵』 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	10月8日(水) 14:00 ~ 15:30
	百人一首「高砂の尾上の桜…」でも知られる大江匡房(1041-1111)は、院政期を代表する学者です。彼の談話は藤原実兼らに記録され、『江談抄』となりました。同書には、匡房の伝える幾つもの説話がありますが、その中から応天門の変(866)に及ぶ伴善男(811-868)の説話を読みます。あわせて国宝『伴大納言絵』や、『宇治拾遺物語』との関係についても講じます。	
2	大江匡房『江談抄』と『吉備大臣入唐絵』 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	10月22日(水) 14:00 ~ 15:30
	『江談抄』には、奈良時代の公卿吉備真備(695-775)の伝承が記録されています。この真備は、遣唐留学生として唐にあった時、才能を妬まれて迫害を受けたというのですが、阿倍仲麻呂(698-770)の霊の援助もあり危地を脱して帰国し、多くの文物を伝えたというのです。この話は『吉備大臣入唐絵』となるのですが、この絵巻との関係や語り手匡房の意識についても考えたいと思います。	
3	大江匡房『狐媚記』を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	11月5日(水) 14:00 ~ 15:30
	当代一級の漢学者であった大江匡房は、『洛陽田楽記』『傀儡子記』『遊女記』等、比較的短文の漢文作品も遺しているのですが、その一篇『狐媚記』を読み解きます。これは、京中に出没する狐が人を化かしたという話を集めたもので、昔話で聞いたような話型のものも多く、当代人士の動物観を窺う資料としても興味深い資料と言えます。あわせて文人貴族が〈怪〉を語る志向についても考えます。	
4	『今昔物語集』巻27より狐説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	11月19日(水) 14:00 ~ 15:30
	匡房死後の12世紀前半に著された『今昔物語集』は、1000を超す説話を類集する一大説話集ですが、その巻27「本朝付霊異」篇には45話の怪異譚が集められています。そのうち第37~41話は狐の怪異を伝えるもので、それらを通観しつつ第41話を対象に読解を試みます。一度は人を化かしおおせても、人智に負け圧伏される狐の話柄について、民俗・昔話との関係を視野に考察しようと思います。	

5	『今昔物語集』 巻 23 より橘則光説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	12 月 3 日(水) 14:00 ～ 15:30
狐が暗躍すると考えられた平安京の闇は、暴力・犯罪の横行する世界でもありました。『今昔』巻23は武勇・強力関連説話を載せるのですが、第15話は橘則光なる人物が、夜盗の集団を斬り伏せたという話です。実は橘則光はかの清少納言の夫でもあり、『枕草子』では和歌を介さない朴念仁として、やや否定的に描かれています。そんな人物が、平安京の闇の中で生き生きと活躍する話が、本書に採録されたことの意義を考えます。		
6	『今昔物語集』 巻 19 より源太夫説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	12 月 17 日(水) 14:00 ～ 15:30
『今昔物語集』は、前代王朝文学が関心を持たなかった世界に目を向けることでも注目される作品です。その中には、地方在住の名も無き悪人の行状に目を凝らしたものも少なくありません。とりわけ巻19 第14 話は、芥川龍之介「往生絵巻」の典拠ともなった、讃岐国住人源太夫の激的な発心と往生を描く、印象鮮明な説話です。この話を精読しつつ、無名人を主人公に据える仏教説話の本意についても考察します。		
7	『発心集』 より玄賓僧都説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	1 月 14 日(水) 14:00 ～ 15:30
鴨長明(1155?-1216)編『発心集』は、当代を代表する仏教説話集と言えます。隠棲・閑居した長明らしく、大寺院を離れた遁世僧への敬意が顕著ですが、中でも3つの話が載る僧玄賓(734-811)への追慕の念は顕著なものがあります。今回は素性を隠した玄賓が、伊賀国郡司の窮地を救った説話を読みます。あわせて、旅する貴人が人々の難儀を救う話が好まれる事実について、水戸黄門(!)の人気もあわせて考えます。		
8	『発心集』 より隠徳・偽悪説話を読む 大阪府立大学 名誉教授 田中 宗博	1 月 28 日(水) 14:00 ～ 15:30
『発心集』第11話は、老齡の「高野の辺の上人」が、弟子に妻女の斡旋を求めることから始まります。弟子は「我が師も墮落・破戒か」と思うのですが、実は静かな信仰生活を得るための方便でした。その真相＝上人の死(往生)は、信仰生活を共にした「妻」のみが知り得たのです。この「妻」との深い相互理解が、弟子との関係性と対比的に描かれる点に注意されますが、丁寧な叙述をとる本話の意義を、当代信仰状況と併せて考えます。		

アステ市民プラザで対面講座、明峰公民館、北陵公民館でライブ配信講座を行います。

会場	①アステ市民プラザ ②明峰公民館 ③北陵公民館	阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩3分(アステ川西6階) 阪急バス「明峰小学校前」下車 徒歩約3分 能勢電鉄「日生中央駅」下車 東へ徒歩約8分
----	-------------------------------	--

募集要項 令和7(2025)年度生涯学習アカデミー

コース・講座名		開講	会 場(受講方式)	定員
A	宇宙地球科学への誘い	5/28(水) 10:00	アステ市民プラザ【対面】 70 名 清和台公民館【ライブ配信】 16 名 東谷公民館【ライブ配信】 22 名	
B	「怪異」から「妖怪」へ ～怪異学入門～	6/25(水) 14:00		
C	日本の生物多様性の今を知る	10/8(水) 10:00	アステ市民プラザ【対面】 70 名 明峰公民館【ライブ配信】 20 名 北陵公民館【ライブ配信】 22 名	
D	院政期説話を学ぶ —『江談抄』『今昔物語集』『発心集』より	10/8(水) 14:00		

受講料 対面8,000円、ライブ配信4,000円

◆同意事項 対面講座を受講すると次年度はライブ配信のみ申込みできます

- ・ライブ配信は通信状態によって、音声や映像が途切れることがあります。
- ・対象は中学生を除く15歳以上の市民。
- ・対面は1コースのみ、ライブ配信は複数申込みできます。
- ・定員を超過したときは、抽選します。
- ・令和6(2024)年度生涯学習アカデミーを対面で受講した人は、今回アステ市民プラザ【対面】の申込みができません。

申込み 開講 5 日前まで受付けます(先着順)

二次元コードから

申込みフォーム、または、

郵 送

申込書にて



申込みフォーム

【申込書の提出先】

市民環境部 生涯学習課

〒666-0033 川西市栄町 25-1 アステ川西 5 階
(土・日曜日、祝日を除く 9:00～17:00 受付)

- 1 人 1 通に限ります。
- 申込み状況についての問合せには、一切お答えできません。
- 申込みを取り消す場合は、かならず生涯学習課までお知らせください。
- 申込み結果は、5 月 14 日 (水) 生涯学習課から郵便を発送します。

受講修了に際して、本文400字程度のレポート提出が必要です。

◆その他

- ・講師の職名は、令和 7(2025)年 3 月現在の情報です。
- ・受講当日の受付は各講座開始 30 分前から行います。
- ・受講料は講座の初回に各館で集金します。
- ・講座の録音、録画、撮影は固く禁じます。また、資料の複写、転用は認められません。
- ・生涯学習課が講座中に撮影した写真は、市の広報などで使用することがあります。
- ・配信不良など主催側の事情で講座を実施できなかった回は、後日返金します。

(対面 1 回 1,000 円、ライブ配信 1 回 500 円)

◆講座日の変更について

- ・気象警報が発表された時、アステ市民プラザに避難所が開設された時など、諸事情により講座を中止したり日程を変更したりすることがあります。
- ・川西市に気象警報・特別警報発表中の場合、実施しません。講座の 2 時間前に各自テレビなどで情報確認をお願いします。

(1) 午前 8 時の時点で気象警報が発表中の場合、午前の講座は中止します。

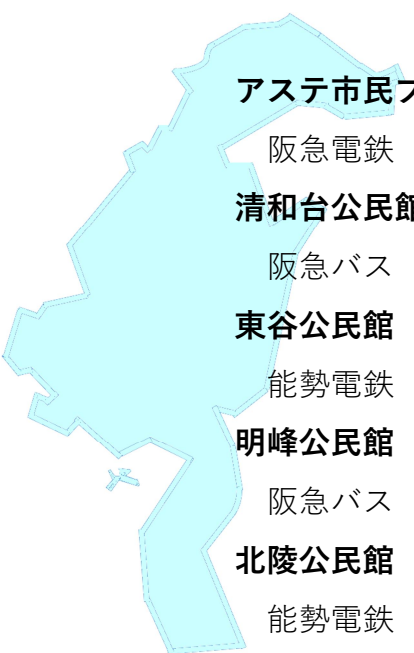
(2) 午後 12 時の時点で気象警報が発表中の場合、午後の講座は中止します。

川西市生涯学習アカデミー

生涯学習のきっかけづくりとして、大学の講座のような専門的な内容を
1 コース 8 回程度で実施します。

生涯学習とは、全ての世代が楽しく学ぶこと、スポーツを通して健康促進
すること、芸術を通して心の豊かさを育むこと、市の文化を継承していく
ことなど、これら全てを指します。

会 場



アステ市民プラザ 【対面講座】

阪急電鉄「川西能勢口駅」徒歩 3 分（アステ川西 6 階）

清和台公民館 【ライブ配信講座】

阪急バス「清和台四丁目」下車すぐ

東谷公民館 【ライブ配信講座】

能勢電鉄「山下駅」下車 南西へ徒歩約 7 分

明峰公民館 【ライブ配信講座】

阪急バス「明峰小学校前」下車 徒歩約 3 分

北陵公民館 【ライブ配信講座】

能勢電鉄「日生中央駅」下車 東へ徒歩約 8 分